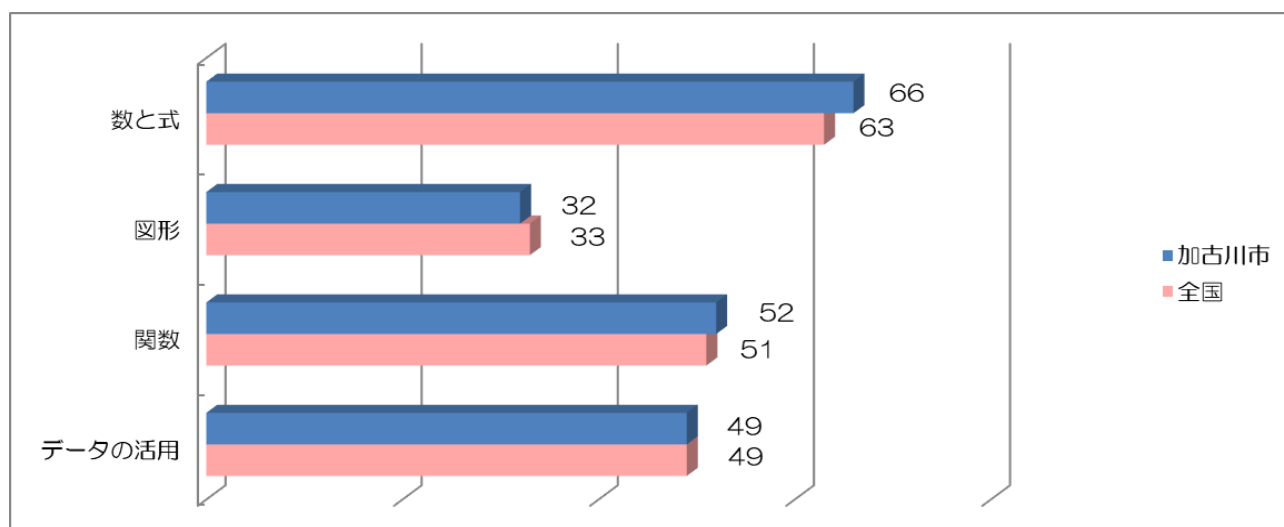


令和5年度全国学力・学習状況調査結果の概要（加古川市）

<中学校 数学>

全国平均と同程度でしたが、「数と式」の領域では、全国平均を上回りました。しかし、筋道を立てて考えて事柄が成り立つ理由を説明する問題や、事象を数学的に解釈し問題解決の方法を説明する問題では、正答率が低く無解答率が高いなどの課題が見られました。今後も、必要な情報を読み取り、論理的に思考し、数学的な表現を用いて自分の考えを説明する力の育成を図ることが大切です。

領域別調査結果（中・数学）



○ 加古川市の生徒が比較的解答できている問題

問題番号	問題の内容
2	数と数式の乗法、 $12(x/4 + y/6)$ を計算する。(数と式)
4	y が x に反比例し、比例定数が3のとき、 x の値とそれに対応する y の値について、正しい記述を選択する。(関数)
6 (1)	はじめの数が11のとき、はじめの数にかける数が2、たす数が3のときの計算結果を求める。(数と式)
7 (1)	1961年～1975年の四分位範囲を求める。(データの活用)

○ 加古川市の生徒がやや苦手としている問題

問題番号	問題の内容
3	空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選択する。(図形)
7 (2)	「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する。(データの活用)
8 (3)	グラフや式を用いて、新緑大学の選手が晴天大学の選手に追いつくのが、6区のスタート地点からおよそ何mの地点になるのかを求める方法を説明する。(関数)
9 (1)	2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する。(図形)